

学習課題(小学校3年生)

【音楽】パソコンなどで、見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

＜学習内容＞

◆「ラ」「ド」「レ」の3つの音で、おはやしのせんりつをつくりましょう。(教科書 64～65 ページ)



※参考動画 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai_shou3.html

(1) せんりつづくりのじゅんぴ運動として、「ラ」「ド」「レ」の音で遊びましょう。

※ $\boxed{\text{ラ}} \quad \boxed{\text{ド}} \quad \boxed{\text{レ}} \cdot$ $\boxed{\text{レ}} \quad \boxed{\text{ド}} \quad \boxed{\text{ラ}} \cdot$ のように、1拍に1つずつ音を入れて、えんそうしてみましょう。

※動画を見られる人は、動画に合わせてまねっこしてみましょう。

※右上の二次元バーコードから、『ラドレの音遊び』が視聴できます。

(2) 「ラ」「ド」「レ」の3つの音と教科書 64 ページにあるリズムを使って、2小節のせんりつをつくりましょう。

※さいごは、「ラ」か「レ」の音で終わりましょう。

※リコーダーでふいてたしかめながら、何種類もつくってみましょう。一番気に入ったせんりつを教科書に書きます。

※教科書 65 ページにある五線にも、書いてみましょう。

※「せんりつづくり方」は動画でも確認できます。

(3) お気に入りのせんりつをくり返してえんそうしてみましょう。

※ばんそうがきける人は、合わせてえんそうしてみましょう。

※えんそうの例を動画で確認できます。

※ばんそうだけをきくこともできます。

教科書 63 ページ「たいこにちょうせん!!」の「リズムと唱歌」にあるリズムを手で打ってみましょう。つくったせんりつとこのリズムを合わせてえんそうすると、よりおはやしらしさを感じることができます。協力してくれる人がいたら、いっしょにやってみましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・ここでは、お囃子の旋律づくりを楽しむことが大きなねらいです。試しながらいくつもの旋律をつくる中で、自分のお気に入りの発見することを大切にしてください。一緒につくって、お子さんの旋律とつなげてみたり、お互いにまねっこしてみたりする活動もおすすめです。

・「ラ」→「レ」、「レ」→「ラ」のように音の跳躍が続くと、「お囃子」らしくならないことがあります。そのような音のつなぎ方をしている場合は、リコーダーで演奏して感じを確かめながら、アドバイスをしてあげてください。